

殿

日仏の文化社会学者らと河合塾生の交歓会のお知らせ  
—— フランス知識人による「生きた歴史」の直接授業 ——

すでにご案内した、25日の名古屋で初の「日仏文化シンポジウム “青年の現在（パリー名古屋）”」には著名な日仏学者が大挙来名されます。この方々は、日本文化史にも所縁の深い「フランス文化社会史」の世界的権威者ばかりです。そこで大学入試の難関突破を目指して努力を重ねている河合塾生と世界史の授業現場で特別講義と交歓会を開いて頂くことにいたしました。

18世紀フランス文明、あるいはフランス革命の導火線になったとみられる「大思想家ディドロ」や「百科全書派」は、これまで共通一次テストなどでも取り入れられ、受験生には最も関心の高いアイテムの一群です。

フランス学者による生のフランス史レクチャーや、フランスでの受験をめぐるやりとり、予備校の日仏比較など、興味深い交歓風景が繰りひろげられるものと期待しています。

ぜひ、ご来校の上、ご取材いただければ幸いです。また25日の「日仏シンポジウム」にもご来場くださるよう重ねてお願い申し上げます。

記 「仏学者らと塾生の交歓授業」

◇と き 11月24日（土） 午後 2時45分～ 3時30分

◇ところ 河合塾 千種校 4E 教室

名古屋市千種区今池 2-1-10

☎ (052)733-7581

( 問い合わせ先・企画本部企画部 )

◇出席者（予定）

フランス側

エリック・ヴァルテール氏（アミヤン大助教授）  
ジャン・ルノー氏（ポワチエ高校教授）  
ピエール・ドゥヴォー氏（京大教授）  
イヴ・フロレンヌ氏（ジャーナリスト）  
アニー・プチ女史（仏大使館文化副参事官）

日本側

中川久定氏（京大文学部教授）  
坂原茂氏（京大文学部助手）

河合塾講師

山森徹先生（世界史担当）

塾生

国公立大志望生

◇予想される対話（塾生から集めた質問の主なもの）

- イ）18世紀のフランスをテーマとした入試問題（フランス学者の生のレクチャー）
- ロ）フランスの大学受験問題の傾向
- ハ）フランスの受験生の実態（仏の予備校?）
- ニ）フランスの学校制度と授業内容、大学生活など
- ホ）仏学者の日本（青年）観、世界史観

昭和59年11月20日

学校法人 河合塾

名古屋市千種区今池 2-1-10

☎ (052)733-7581

問い合わせ先

企画本部企画部（内）222, 226